

# 令和 7年度予算見積調書

課室名：薬務課  
 担当名：販売指導担当  
 内線：3622

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
S216	後発医薬品使用促進対策費（後発医薬品使用促進対策費）		一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	薬事監視指導費	
事業期間	昭和47年度～	根拠法令	後発医薬品安心使用促進事業実施要綱		針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3
					分野施策	0305 医薬品などの適正使用の推進	SDGsターゲット	3-8
1 事業概要	県民及び医療関係者が安心してジェネリック医薬品を使用することができる環境整備について協議会の開催により、後発医薬品安心使用促進対策の検討を行う。県民及び医療関係者への正しい知識の普及啓発を実施する。  後発医薬品使用促進対策費 3,152千円		5 事業説明 (1) 事業内容 後発医薬品使用促進対策 3,152千円 (ア) 協議会の開催 県民及び医療関係者が安心して後発医薬品を使用することができる環境整備のため、後発医薬品安心使用促進対策について検討 (イ) 後発医薬品使用促進に向けた啓発活動 県民及び医療関係者に対し後発医薬品に関する正しい知識の普及啓発  (2) 事業計画 後発医薬品使用促進 (ア) 協議会の開催（年2回） (イ) 郡市医師会、地域薬剤師会の会合等で勉強会の開催（8地区） 県医師会等を対象に後発医薬品メーカー工場視察（1回） 県民に対する普及啓発（通年）  (3) 事業効果 後発医薬品普及状況 数量ベース（新指標）：令和2年度末82.9%、令和3年度末82.7%、令和4年度末84.4%、令和5年度末86.0%、  (4) その他 国委託事業のため、事業終期は設定できない。					
2 事業主体及び負担区分	(国10/10)							
3 地方財政措置の状況	なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.8人=7,600千円							
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		国庫支出金						
決定額	3,152	3,152					0	17
前年額	3,135	3,135					0	

## 事業内訳書

事業名	後発医薬品使用促進対策費（後発医薬品使用促進対策費）		
単位事業名	後発医薬品使用促進対策費	予算額	3,152千円

### ○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 医薬費委託金	3,152	17	薬事経済調査委託金
合計	3,152	17	

### ○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	280	0	協議会委員謝金 14人分
旅費	94	0	協議会打合会 1回 勉強会打合会 6回 勉強会参加 6回 工場視察参加 1回 医療機関訪問 8回
需用費	931	0	協議会お茶代 14人分 後発医薬品安心使用促進広報用品 リーフレット作成費
役務費	144	9	協議会通知発送 協議会資料発送 協議会議事録の作成

単位事業名	後発医薬品使用促進対策費	予算額	3,152千円
-------	--------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	1,573	0	啓発CM映画館上映料金（30秒）
使用料及び賃借料	130	8	協議会会場使用料 工場視察バス使用料
合計	3,152	17	